

令和7年度（2025年度）

病害虫発生予察情報 第14号

6月月報

北海道病害虫防除所 令和7年(2025年)7月18日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－6月として歴代1位の高温となり3年連続の記録的な高温。太平洋側では歴代1位の多照。－

6月は、偏西風が北に蛇行し、暖かい空気に覆われやすかった。また、湿った東風の影響を受けづらく、高気圧圏内で晴れた日が多かった。それに加えて、低気圧が北海道の北を通過する日が多く、暖かい空気が流れ込みやすかった。これらの要因により、北海道地方と全ての地域で気温はかなり高かった。また、北海道地方と太平洋側の日照時間はかなり多くなった。月平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降6月として、北海道地方と全ての地域で高い方から第1位となり、3年連続の記録的な高温となった。太平洋側の日照時間の平年比も、1946年の統計開始以降6月として多い方から第1位となった。一方で、日本海側では前線の影響により大雨となった日もあったため、月降水量は多かった。

上旬：低気圧が北海道の北を通過することが多く、湿った東風の影響を受ける日が少なかったため、太平洋側では晴れた日が多く、日照時間はかなり多かった。気温は、5日までは北風となって平年を下回る日もあったが、6日以降は南風となって平年を大きく上回ったため、北海道地方の旬平均気温は高く、太平洋側ではかなり高かった。

中旬：高気圧に覆われやすく、また湿った東風の影響を受けにくく、晴れた日が多かったため、北海道地方の日照時間はかなり多く、降水量は少なかった。また、暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温はかなり高く、旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降6月中旬として高い方から第1位の記録となった。

下旬：低気圧が北海道の北を通過することが多く、湿った東風の影響を受ける日が少なかったため、日照時間はオホーツク海側でかなり多く、太平洋側で多かった。また、暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高く、北海道地方の旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降6月下旬として高い方から第1位の記録となった。一方で、21日から22日にかけて前線が通過した影響で、日本海側を中心に広い範囲で大雨となったため、降水量は日本海側でかなり多かった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22地点平均	+3.4	か高	93	並	130	か多
日本海側10地点平均	+2.8	か高	116	多	109	並
オホーツク海側4地点平均	+4.5	か高	78	並	133	多
太平洋側8地点平均	+3.7	か高	73	並	155	か多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. いもち病（葉いもち） 発生期（取り置き苗） 早、(本田) 早

予察田の「ななつぼし」及び「きらら397」における取り置き苗（接種）での初発期は、比布町と北斗市で平年より早く、岩見沢市で平年よりやや早かった。本田での初発期は、長沼町、比布町及び北斗市いずれの地点においても平年より早かった。

予察田におけるいもち病の発生状況

地点	品種名	取り置き苗初発期		本田初発期		平年数
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	ななつぼし	6月23日	6月26日	7月10日	7月19日	10
比布町	ななつぼし	6月16日	6月23日	6月30日	7月13日	9
北斗市	きらら397	6月11日	6月19日	6月30日	7月10日	10
	ななつぼし	6月11日	-	6月30日	-	-

注) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注) -は平年値なし

葉いもち発生予測システム「BLASTAM」(ブラスタム)の利用方法

BLASTAMは、アメダスの気象データ（気温・降雨・風速・日照）を利用して、いもち病の感染が起こりやすい日（感染好適日・準感染好適日）を推定するものです。

感染のおよそ1週間後頃から、葉いもち病斑が見えるようになります。好適日から約1週間後に、水田内での葉いもちの観察を行きましょう。

いもち病菌の感染に好適な気象条件

感染好適日 ●
準感染好適日 ○

約1週間後

葉いもちの発生有無を確認

BLASTAM予測結果は防除所のホームページで確認できます！！

2. ヒメトビウンカ（第1回） 発生量 少

予察田の畦畔における成虫すくい取り数は比布町で平年より少なかった。長沼町及び北斗市では捕獲は認められなかった。

ヒメトビウンカ成虫の予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.6	20.0	29.4	0	3.3
2半旬	0	0.3	2.5	30.8	0	1.3
3半旬	0	0	0	8.5	0	1.3
4半旬	0	0.5	0	2.5	0	0
5半旬	0	0	0	0.6	0	0.3
6半旬	0	0.4	0	1.5	0	0
平年数	10		10		10	

3. イネドロオウムシ 発生期 並 発生量 少

予察田における産卵初発期は、長沼町で平年よりやや遅く、比布町及び北斗市では産卵が認められていない。幼虫初発期は長沼町で平年よりやや早く、比布町で平年並、北斗市では平年よりやや遅かった。卵塊数および幼虫の発生量は長沼町で平年より少なく、比布町では発生は認められなかった。

一般田における6月6半旬の巡回調査では空知地方の3地点において卵塊が認められたものの、要防除水準（2卵塊/株）に達した地点はなかった。

予察田におけるイネドロオウムシの初発期

	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
産卵	6.III	6.II	-	6.IV	-	6.II
幼虫	6.III	6.IV	6.VI	6.VI	6.V	6.IV
平年数	10		10		10	

予察田におけるイネドロオウムシの発生状況

月・半旬	卵塊数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)			
	長沼町		比布町		長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.9	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	8.6	0	0	0	2.3	0	0
3半旬	2	13.6	0	0.1	14	15.9	0	0
4半旬	4	16.8	0	0.7	12	35.2	0	0.3
5半旬	5	18.1	0	0.2	22	63.9	0	2.2
6半旬	7	18.7	0	0.6	26	79.3	0	1.3
平年数	10		10		10		10	

巡回調査によるイネドロオウムシの卵塊及び幼虫数(25株あたり)

普及センター	地点数	卵塊				幼虫			
		6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
空知	本所	6	1.5	0	4.7	1.0	20.0	2.5	
	南東部	2	0	0	0	0	0	0	
	南西部	4	0	0	0	0	0	0	
	中空知	4	0.5	8.3	0	0	1.8	6.8	
	北空知	6	0.5	0	0.8	0	0.8	0.1	
石狩	本所	2	0	0	0	0	0	0	
	北部	7	0	0	0	0	0	0	
後志	本所	4	0	0	0	0	0	0	
胆振	東胆振	4	0	0	0	0	0	0	
普及センター	地点数	卵塊				幼虫			
		6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
日高	西部	2	0	0	0	0	0	0	0
	本所	1	0	0	0	0	0	0	0
檜山	本所	2	0	0	0	0	0	0	0
	北部	2	0	0	0	0	0	0	0
上川	本所	7	0	0	0	0	0	0	0
	富良野	3	0	0	0	0	0	0	0
	大雪	4	0	0	0	0	0	0	0
	士別	3	0	0	0	0	0	0	0
	名寄	3	0	0	0	0	0	0	0
留萌	本所	4	0	0	0	0	0	0	0
	南留萌	2	0	0	0	0	0	0	0

4. アカヒゲホソミドリカスミカメ(第1回)

発生期 やや遅 発生量 多

<7月18日付け注意報第6号>

予察田の畦畔におけるすくい取りによる成虫初発期は、比布町で平年よりやや早く、長沼町で平年より遅く、北斗市では初発が認められなかった。

予察灯による成虫の誘殺数は、長沼町及び比布町で平年より多かった。予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、比布町で平年並、長沼町で平年より少なく、北斗市では発生が認められなかった。

一般田における6月6半旬の巡回調査では、畦畔すくい取りにおいて全72地点中、空知、後志、胆振、檜山、上川、留萌地方の計23地点で捕獲が認められており、一部地域では多捕獲も認められている。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察灯誘殺数				畦畔すくい取り数 (20回振り)×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	1.3	0	4.5	0	0	0	0
2半旬	12	2.0	0	2.9	0	7.0	20.0	8.3	0	0.8
3半旬	9	6.2	13	4.3	5.0	17.6	0	4.8	0	0.8
4半旬	95	11.7	24	1.6	0	8.9	0	4.5	0	3.5
5半旬	122	6.4	10	1.2	5.0	2.0	0	1.7	0	0.5
6半旬	17	10.3	10	3.2	2.5	4.6	0	0	0	0.5
初発期	6月10日	6月10日	6月13日	6月11日	6月15日	6月3日	6月8日	6月11日	-	6月9日
平年数	10		10		10		10		10	

巡回調査によるアカヒゲホソミドリカスミカメ成幼虫の畦畔すくい取り数(20回振り)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	本所	6	1.2	0.2	日高	西部	2	0	0
	南東部	2	0	0.5		渡島	本所	1	0
	南西部	4	5.5	0	檜山	本所	2	0.5	0
	中空知	4	0.3	0		北部	2	1.5	0
	北空知	6	1.2	0	上川	本所	7	2.1	0.3
石狩	本所	2	0	0.5		富良野	3	0	0
	北部	7	0	0		大雪	4	0.3	0
後志	本所	4	0.3	0		士別	3	0	0.3
	東胆振	4	0.5	0.8		名寄	3	5.3	0
胆振	本所	4	0.3	0	留萌	本所	4	0.3	0
	南留萌	2	1.5	0					

5. フタオビコヤガ(第1回)

発生量 やや少

予察田において、第1回幼虫の発生量は長沼町で平年並、比布町では発生が認められなかった。被害株率は長沼町で平年並、比布町では被害が認められなかった。

予察田におけるフタオビコヤガの発生状況

月・半旬	幼虫数(25株あたり)				被害株率(%)			
	長沼町		比布町		長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0.5
3半旬	0	0.7	0	0.1	0	0.8	0	0.9
4半旬	1	0.8	0	0.1	4.0	5.6	0	2.7
5半旬	1	0.6	0	0	16.0	11.2	0	2.7
6半旬	0	0.5	0	0	16.0	13.2	0	3.1
平年数	10		10		4		8	

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における発生量は、長沼町及び訓子府町で平年並、芽室町でやや少なかった一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点では石狩、檜山及び上川地方で発生が認められている。

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	10.3	4.7	14.4	15.3	-	25.1	10
		最上位葉	5.5	0.8	11.6	7.7	-	15.7	
		最上-1葉	13.2	4.3	18.7	14.6	-	32.3	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.0	0.4	0.0	1.9	1.6	7.9	10
		最上位葉	0	0.0	0	0.2	1.1	5.9	
		最上-1葉	0	0.1	0.0	1.1	2.4	8.3	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.0	0.1	0.5	1.0	5.8	6.4	10
		最上位葉	0	0.0	0.0	0.1	2.1	2.7	
		最上-1葉	0	0.0	0.2	0.4	3.7	3.9	

注) - : 調査不能

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	4	-	-	留萌	本所	3	0	0	
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0	1.0
	南西部	4	-	-			清里	6	0	40.2
	北空知	6	-	-			網走	2	0	0
石狩	本所	3	1.0	10.0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	9	0	0		
後志	本所	3	0	0	紋別	3	0	0		
胆振	本所	3	-	2.7	十勝	本所	7	-	-	
	東胆振	3	-	-		東部	9	-	-	
檜山	本所	2	-	0		東北部	4	-	-	
	北部	2	42.0	-		北部	3	-	0.3	
上川	本所	4	2.0	-	西部	3	-	-		
	富良野	3	2.7	-	南部	7	-	-		
	大雪	3	0	-						
	士別	4	5.0	0						
	名寄	3	13.3	-						

注1) - : 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

2. うどんこ病 発生量 やや少

予察ほの「きたほなみ」における発生量は、訓子府町では平年よりやや少なく、長沼町及び芽室町では平年より少なかった。

一般ほにおける6月3半旬の巡回調査報告によると、石狩及び上川地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0	0.25	0	0.29	-	0.27	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	-	0.03	
		最上-1葉	0	0.07	0	0.13	-	0.21	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.04	0	0.05	0	0.00	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.10	0.01	0.20	0.02	0.01	0.02	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.02	
		最上-1葉	0.00	0.00	0.06	0.01	0.01	0.01	

注) -: 調査不能

一般ほにおけるうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	4	-	-	留萌	本所	3	0	0	
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0	0
	南西部	4	-	-			清里	6	0	0
	北空知	5	-	-			網走	2	0	0
石狩	本所	3	1.7	0	美幌		6	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	9	0	0		
後志	本所	3	0	0	紋別	3	0	0		
胆振	本所	3	-	0	十勝	本所	7	-	-	
	東胆振	3	-	-		東部	9	-	-	
檜山	本所	2	-	0		東北部	4	-	-	
	北部	2	0	-		北部	3	-	0	
上川	本所	4	0	-		西部	3	-	-	
	富良野	3	0	-		南部	7	-	-	
	大雪	3	0	-						
	士別	4	6.3	0						
	名寄	3	0	-						

注1) -: 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

3. アブラムシ類 発生期 やや早 発生量 少

予察ほにおけるムギヒゲナガアブラムシの初発期は、訓子府町で平年並、長沼町では発生が認められなかった。ムギクビレアブラムシの発生は、長沼町で平年より早く、訓子府町では平年よりやや遅かった。

ムギヒゲナガアブラムシ及びムギクビレアブラムシの発生量は、いずれの地点も平年より少なかった。

予察ほの秋まき小麦におけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ムギヒゲナガアブラムシ				ムギクビレアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.4	0	0.3	0	0.1	0	11.7
3半旬	0	0.8	0	6.9	0	0.1	0	9.0
4半旬	0	1.8	1	8.7	0	0.7	0	3.7
5半旬	0	1.8	12	10.7	0	0.5	0.5	6.1
6半旬	0	3.4	0	6.6	0	0.6	1	10.5
初発期	-	6.IV	6.IV	6.IV	6.II	6.VI	6.V	6.IV
平年数	10		10		10		10	

注) 25穂あたりの寄生虫数

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生量 やや多

予察ほにおける成虫すくい取り数は、長沼町及び比布町で平年よりやや多かった。

予察ほの春まき小麦におけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	172.5	77.1	545.0	251.7
2半旬	22.5	53.0	582.5	460.0
3半旬	10.0	41.7	145.0	196.2
4半旬	7.5	11.7	55.0	58.5
5半旬	0	8.9	10.0	30.6
6半旬	0	5.1	10.0	31.4
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

D. とうもろこし

1. オオタバコガ 発生期 並 発生量 多 <6月20日付け注意報第2号>

フェロモントラップによる成虫の初誘殺は、長沼町で6月4日(平年:6月19日)と平年より早く、比布町で6月7日(平年:6月3日)と平年よりやや遅く、北斗市では6月15日(平年:5月28日)と平年より遅かった。訓子府町では誘殺が認められなかった。

成虫の誘殺数は長沼町及び比布町で平年より多く、北斗市は平年並であった。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	0	0	0.1	0	0	0	0
2半旬	4	0	2	0.1	0	0.1	0	0
3半旬	6	0.3	3	0.3	1	0	0	0
4半旬	12	0.8	1	0.2	0	0	0	0
5半旬	15	0.6	2	0.1	0	0	0	0
6半旬	2	0.2	1	0	0	0.4	0	0
初発期	6月4日	6月19日	6月7日	6月3日	6月15日	5月28日	-	-
平年数	10		10		10		8	

E. 豆類

1. タネバエ (大豆) 発生量 多

予察ほの大豆における被害個体率は、長沼町及び訓子府町で平年より多く、芽室町では平年よりやや多かった。

予察ほにおけるタネバエの被害状況(%)

	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
被害個体率	89.2	61.0	22.0	13.9	70.0	17.1
健全個体率	0	32.5	76.0	81.4	30.0	77.5
他不出芽	10.8	6.4	2.0	4.8	0.7	5.3
平年数	10		9		10	

注)他不出芽:タネバエ被害以外の不出芽を示す

2. ジャガイモヒゲナガアブラムシ(大豆) 発生期 早 発生量 やや多

黄色水盤におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの初発期は、いずれの地点においても平年より早かった。

黄色水盤による捕獲数は、訓子府町で平年並、長沼町では平年よりやや少なかった。

予察ほの大豆における寄生虫数は、長沼町で平年よりやや多く、訓子府町では平年並であった。

黄色水盤によるジャガイモヒゲナガアブラムシの誘殺数と初発期

月・半旬	長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.6	0	0.9
2半旬	1	2.3	2	1.8
3半旬	1	1.7	0	0.7
4半旬	1	1.8	1	0.2
5半旬	0	1.3	1	0.8
6半旬	0	0.7	1	1.2
初発期	5.VI	6. I	5.VI	6. II
平年数	10		10	

予察ほの大豆におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生状況

月・半旬	長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.5	0	0.8
2半旬	10	1.7	12	3.9
3半旬	9	2.8	3	1.8
4半旬	7	5.0	2	2.8
5半旬	2	4.8	0	3.6
6半旬	1	2.2	0	2.1
平年数	10		10	

注)25株2小葉(計50小葉)あたりの寄生虫数

3. マメアブラムシ(小豆) 発生期 並 発生量 少

予察ほにおける初発期は、長沼町及び訓子府町で平年並、芽室町で平年よりやや遅かった。

寄生株率は訓子府町で平年よりやや少なく、長沼町及び芽室町では平年より少なかった。

予察ほの小豆におけるマメアブラムシ寄生株率(%)

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	0	0	0	0.2	0	0
3半旬	0	5.3	0	0.3	0	0.4
4半旬	0	17.7	0	2.7	0	0.8
5半旬	0	17.8	0	9.9	0	1.2
6半旬	4	13.1	0	23.9	4	5.2
初発期	6.IV	6.IV	6.V	6.IV	6.VI	6.VI
平年数	9		10		10	

F. ばれいしょ

1. 疫病 発生期 ー

予察ほの「とうや」において、長沼町、北斗市、芽室町及び訓子府町のいずれの地点においても発生を認めていない。

一般ほにおける巡回調査の報告では、上川地方で発生が認められている。

予察ほにおける疫病の初発期

地点	品種名	本年	平年	平年数
長沼町	とうや	未発生	7月18日	8
	スノーマーチ	未発生	7月19日	8
北斗市	とうや	未発生	7月6日	10
芽室町	とうや	未発生	7月13日	10
	スノーマーチ	未発生	7月15日	10
訓子府町	とうや	未発生	7月13日	8
	スノーマーチ	未発生	7月15日	8

一般ほにおける疫病の巡回調査結果

普及センター		調査 地点数	発病株率(%)		普及センター		調査 地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	南東部	1	0	0	網走	本所	7	0	0
後志	本所	4	0	0		清里	6	0	0
胆振	本所	2	0	0		網走	2	0	0
渡島	本所	1	0	0		美幌	2	0	0
檜山	本所	2	0	3.0	十勝	本所	3	0	0
	北部	2	0	0.5		東部	7	0	0
上川	富良野	3	0	0	東北部	2	0	0	
	大雪	2	0.5	0	北部	3	0	0	
	士別	2	0	0	西部	2	0	0	
	名寄	1	0	0	南部	7	0	0	
					釧路	本所	2	0	0
					根室	北根室	1	0	0

2. アブラムシ類 発生量 やや多

予察ほにおけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生量は、訓子府町で平年よりやや多く、長沼町で平年並であった。モモアカアブラムシはいずれの地点でも発生が認められなかった。ワタアブラムシの発生量は、長沼町で平年並、訓子府町では発生が認められなかった。

6月6半旬の巡回調査では、全64地点中10地点で寄生が認められた。

予察ほにおけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ジャガイモヒゲナガアブラムシ				モモアカアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.0	0	0.1	0	0	0	0
2半旬	1	0.3	0	0.3	0	0.1	0	0
3半旬	3.5	1.5	2.4	0.5	0	0.0	0	0
4半旬	1.5	1.4	3.2	0.9	0	0.0	0	0
5半旬	0.5	0.9	4	1.9	0	0.4	0	0
6半旬	0	0.8	3.2	2.2	0	0.3	0	0.3
平年数	10		10		10		10	

月・半旬	ワタアブラムシ			
	長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0
3半旬	0	0.9	0	0
4半旬	1	1.1	0	0.6
5半旬	1	1.6	0	0.3
6半旬	3.5	3.1	0	2.9
平年数	10		10	

注) 20株各2複葉、合計40複葉を調査。虫数は10株20複葉あたり換算虫数。品種は「スノーマーチ」

巡回調査によるばれいしょのアブラムシ類寄生虫数

普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知	南東部	1	2.0	0	0
後志	本所	4	0	0	0.3
胆振	本所	2	0	0	0.3
渡島	本所	1	0	0	2.0
檜山	本所	2	0	0	1.0
	北部	2	0	0	3.0
上川	富良野	3	0	0	0.3
	大雪	2	0	0	0
	士別	2	0	0	2.0
	名寄	1	0	0	0
網走	本所	7	0	0.5	0.3
	清里	6	0	0	0.3
	網走	2	0	0	0
	美幌	2	0	0	0
十勝	本所	3	0	0	1.0
	東部	7	0.1	0	0
	東北部	2	0	0	0
	北部	3	0	0	2.3
	西部	2	0	0	1.5
南部	7	0	0	0.4	
釧路	本所	2	0	0	0
根室	北根室	1	0	0	0

注) 10株20複葉調査

G. てんさい

1. 褐斑病 発生期 早

<7月1日付け注意報第4号>

予察ほの抵抗性“やや強”品種「ライエン」における初発期は、長沼町及び訓子府町では平年より早く、芽室町では平年並だった。

予察ほにおける褐斑病の発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	ライエン(やや強)	6月25日	7月9日	10
芽室町	あまいぶき(弱)	7月3日	7月3日	10
	ライエン(やや強)	7月2日	7月3日	10
	スタウト(強)	7月2日	7月4日	10
訓子府町	ライエン(やや強)	6月30日	7月10日	10

2. ヨトウガ(第1回) 発生期 遅 発生量 多

予察ほにおける産卵の初発期は、長沼町で平年より遅かった。芽室町及び訓子府町では産卵は認められなかった。

食害程度は、いずれの地点においても平年より高かった。

巡回調査では全71地点中、上川及びオホーツク地方の計3地点で要防除水準(被害株率50%)を超える発生が認められた。

予察ほにおけるヨトウガの卵塊数および食害程度

月・半旬	卵塊数(50株あたり)						食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.8	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.7	0	0.6	0	0	0	0.2	0	0	0	0
3半旬	0	1.9	0	0.8	0	0.1	0	0.6	2	0.1	0	0
4半旬	1	1.9	0	0.7	0	0.3	3	2.9	2	0.5	0	0
5半旬	0	1.1	0	0.3	0	0	15	6.6	9	2.9	4	0.1
6半旬	0	0.7	0	0.2	0	0.2	24	13.1	16.5	7.2	8	0.7
初発期	6.IV	6.II	-	6.II	-	6.IV						
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬		
		本年	前年			本年	前年	
空知	南東部	1	18.0	網走	本所	9	16.9	
	石狩	3	8.0		清里	6	28.3	
	後志	3	11.3		網走	2	13.0	
	胆振	本所	4		0	美幌	5	2.0
		東胆振	3		11.3	遠軽	4	17.3
上川	富良野	2	1.0	十勝	本所	3	2.0	
	大雪	2	0		東部	4	19.0	
	士別	4	41.8		東北部	2	19.0	
	名寄	1	10.0		北部	3	8.7	
					西部	3	16.7	
				南部	7	1.7		

注)50株調査

3. テンサイトビハムシ

発生量 やや多

予察ほにおける食害程度は、芽室町で平年より高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシの食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	25	27.1	38	13.2	26	21.3
2半旬	25	27.1	37	12.3	27	23.6
平年数	10		10		9	

H. たまねぎ

1. 白斑葉枯病

発生期 並 発生量 やや少

予察ほにおける初発期は、長沼町で平年並、訓子府町でやや早かった。6月6半旬における発生量は、長沼町で平年より少なく、訓子府町で平年並であった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、空知及び十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける白斑葉枯病の発生状況

地点	品種名	初発期		発病度						平年数
				6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	北もみじ2000	6月16日	6月15日	0	0	0.5	7.0	2.0	21.6	10
訓子府町	北もみじ2000	6月24日	6月27日	0	0	0	0	1.0	1.3	10

一般ほにおける白斑葉枯病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	5	0.4	0	網走	本所	8	0	0
	南東部	3	0	0		清里	2	0	1.0
	南西部	3	0	0		美幌	4	0	0
	中空知	2	0	4.0		遠軽	1	0	7.0
石狩	北部	2	0	0	十勝	本所	3	0	0
上川	富良野	4	0	0		東部	2	6.5	0
	大雪	1	0	0					
	士別	2	0	0					

2. ネギアザミウマ

発生期 早 発生量 多

予察ほにおける成虫の初発期は、いずれの地点においても平年並であった。幼虫の初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町で平年並であった。被害の初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町では平年よりやや早かった。

寄生成虫数及び幼虫数は、訓子府町で平年より多く、長沼町でやや少なかった。被害程度は、いずれの地点においても平年並であった。

巡回調査では、寄生株率50%以上の地点は全40地点中、空知、上川、オホーツク及び十勝地方の7地点であった。

予察ほにおけるネギアザミウマの発生状況

月・半旬	成虫数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)				被害程度			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	1	3.5	3	17.7	2.3	0.1	0	0.5	0.8	1.8	2	9.1
2半旬	4.3	6.5	29	24.0	0.5	1.7	0	4.5	4.8	5.0	15	14.6
3半旬	11	16.7	60	51.1	17.5	11.8	16	31.6	13.5	10.7	24	22.6
4半旬	21.5	19.5	122	52.0	27.5	70.9	544	238.5	25.5	16.9	41	34.7
5半旬	20	25.6	22	39.3	115	182.8	1594	529.7	29	21.5	49	44.6
6半旬	65	42.3	312	45.2	40	210.2	1817	889.4	32	27.6	70	53.9
初発期	6. I	6. I	5. VI	5. VI	5. VI	6. II	6. III	6. III	5. VI	6. II	5. VI	6. I
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるたまねぎのネギアザミウマ寄生株率(%)

普及センター	地点	数	6月6半旬		普及センター	地点	数	6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	5	7.4	7.2	上川	富良野	4	31.0	10.0
	南東部	3	64.0	12.0		大雪	1	5.0	10.0
	南西部	3	6.7	18.3		士別	2	70.0	5.0
	中空知	2	4.0	0	網走	本所	8	17.5	7.0
石狩	北部	2	12.0	8.5		清里	2	52.0	56.0
						美幌	4	3.0	2.0
					遠軽	1	23.0	3.0	
					十勝	本所	1	50.0	10.7
						東部	2	8.0	6.0

注)25株調査

I. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 多

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町で平年より多かった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町	
	本年	平年
6月1半旬	10	2.8
2半旬	36	5.7
3半旬	24	7.2
4半旬	36	7.8
5半旬	12	4.5
6半旬	16	6.0
平年数	10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 多

<5月13日付け注意報第1号>

フェロモントラップによる誘殺数は、長沼町、北斗市及び訓子府町で平年より多く、比布町では平年より少なかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町では平年より多かった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	20	17.3	11	28.6	57	32.2	4	6.8
2半旬	60	16.5	8	35.1	94	26.7	16	6.2
3半旬	41	32.6	4	22.0	33	28.5	14	5.7
4半旬	37	26.6	6	19.6	58	26.7	18	4.5
5半旬	49	23.1	7	13.2	28	28.7	2	4.3
6半旬	78	38.9	18	15.5	114	55.9	2	4.0
平年数	10		9		10		10	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺、比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町	
	本年	平年
6月1半旬	0	2.6
2半旬	21	6.1
3半旬	26	20.4
4半旬	152	34.8
5半旬	740	71.0
6半旬	374	148.0
平年数	10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

J. りんご

1. モニリア病 発生量 少

長沼町の予察園(無防除)「相伝ふじ」(早生ふじ系)及び余市町の予察園(慣行防除)「昂林」では、モニリア病の発生は認められなかった。

一般園における巡回調査の報告によると本病の発生は認められていない。

予察園(長沼町)におけるモニリア病の発生状況

品種名	相伝ふじ			
	実腐花葉叢率(%)		株腐花葉叢率(%)	
	本年	平年	本年	平年
落花10日後	0	0		
落花20日後			0	0

予察園(余市町)におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	調査時期	葉腐花葉叢率(%)	
			本年	平年
余市町	昂林	6月1週目	0	0
		6月2週目	0	0
		6月3週目	0	0

注1) 予察園(余市町)は慣行の防除を実施している。

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

2. 黒星病 発生期 やや早 発生量 並

長沼町の予察園(無防除)「相伝ふじ」における初発期は平年よりやや早かった。余市町の予察園(慣行防除)「昂林」では発生を認めていない。発生量は、長沼町の予察園では平年よりやや多かった。

一般園における巡回調査の報告では発生が認められていない。

予察園(長沼町)における黒星病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	5月21日	5月26日	8
余市町	昂林	未発生	-	-

予察園(長沼町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)											
		6月1半旬		6月2半旬		6月3半旬		6月4半旬		6月5半旬		6月6半旬	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	相伝ふじ	13.2	8.1	26.9	16.6	37.8	29.4	44.9	37.0	56.1	45.9	66.0	54.1

予察園(余市町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)									
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
余市町	昂林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 余市町の予察園は慣行防除

一般園における黒星病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

3. 斑点落葉病 発生期 早 発生量 並

長沼町の予察園（無防除）の「王林」での初発期は平年より早かった。発生量は、平年並だった。余市町の予察園（慣行防除）の「昂林」での発生は、確認されていない。

予察園(長沼町)における斑点落葉病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	王林	6月18日	6月29日	10

予察園(長沼町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)						平年数
		6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林	0	0	0.56	0.59	0.61	0.77	10

4. ハマキムシ類 発生期 やや遅 発生量 やや多

予察園のフェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの初誘殺日は、長沼町及び余市町A（慣行防除）で平年並、余市町B（慣行防除）で平年よりやや遅かった。リンゴモンハマキの初誘殺日は、長沼町で平年並、余市町Aでは平年より遅かった。余市町Bでは誘殺は認められなかった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは余市町A及びBで平年より多く、長沼町では平年より少なかった。リンゴモンハマキは長沼町では平年より多く、余市町Aでは平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは石狩市及び七飯町で平年より多く、札幌市、壮瞥町及び増毛町では平年並であった。リンゴモンハマキは石狩市及び七飯町で平年より多く、札幌市、壮瞥町及び増毛町では平年並であった。

予察園におけるハマキムシ類のフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	リンゴコカクモンハマキ						リンゴモンハマキ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.3	0	0.2
2半旬	0	0.2	2.1	0.2	0	0.2	0	0	0.1	2.7	0	2.9
3半旬	1	4.0	10.6	0.7	0	1.0	4	0.9	0.6	3.1	0	3.6
4半旬	4.3	13.6	6.4	1.6	4.7	1.2	36	3.7	0.3	3.8	0	1.6
5半旬	4.8	13.0	3.0	1.7	6.4	1.6	20	10.6	0	1.4	0	0.9
6半旬	6	6.6	0.7	0.4	0.7	0.9	20	7.2	0	0.4	0	0.6
初誘殺日	6月15日	6月16日	6月18日	6月18日	6月25日	6月22日	6月13日	6月15日	6月18日	6月8日	-	6月6日
平年数	10		10		10		5		5		5	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0.4	0.0	0	0	0	0	-	0.1	-	0
2半旬	0.6	0.6	0	0	0	0	0.8	0.0	0.6	0.3
3半旬	6.4	2.2	1.6	0.3	0	0.4	3.8	1.3	3.1	1.9
4半旬	4.7	4.5	6.8	0.8	1.2	1.0	19.5	3.5	1.3	2.2
5半旬	3.1	4.5	1.6	0.6	0.8	2.0	24.7	3.3	0.7	1.8
6半旬	1.4	3.8	0	0.7	0	1.1	13.8	2.6	1.3	2.6
平年数	10		10		10		10		10	

一般園におけるリンゴモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年								
6月1半旬	0	0	0	0	0.4	0.3	-	0	-	0.1
2半旬	0	0	1.0	0	1.6	1.1	0	0.0	0.8	0.4
3半旬	0	0	4.0	0	0	1.1	0	0.1	1.3	1.1
4半旬	0.9	0.1	0.2	0.0	0	0.8	2.5	0.7	0.5	1.0
5半旬	1.7	0.4	0.8	0.4	0	1.4	4.8	0.6	0	0.3
6半旬	2.9	1.7	0	0	0	0.4	5.7	1.4	0	0.0
平年数	5		5		5		5		5	

5. モモシンクイガ 発生期 早 発生量 多

予察園のフェロモントラップによる初誘殺日は、長沼町（無防除）及び余市町A（慣行防除）で平年より早く、余市町B（慣行防除）で平年並であった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数はいずれの地点においても平年より多かった。

長沼町における産卵初発期は6月25日（平年：7月1日）と平年より早かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、札幌市、壮瞥町で平年より多く、七飯町では平年よりやや多かった。

予察園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0.3	0.1	0.9	0.1
2半旬	1	0	1.4	0.1	2.1	0.6
3半旬	3	2.5	3.8	0.9	5.0	2.2
4半旬	15	6.2	5.8	2.7	71.9	6.5
5半旬	32	16.8	8.1	3.9	102.9	10.7
6半旬	40	27.6	12.1	4.8	48.6	15.1
初誘殺日	6月10日	6月16日	6月10日	6月16日	6月11日	6月12日
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		壮瞥町		七飯町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0.4	0.0	0	0	-	0
2半旬	0.6	0.2	0.5	0.0	0	0.0
3半旬	3.6	0.5	2.5	0.5	0	0.2
4半旬	22.9	1.8	1.3	0.9	0.5	0.0
5半旬	39.1	4.4	6.7	2.1	1.5	0.3
6半旬	52.9	11.9	5.0	3.0	2.5	0.9
平年数	10		10		10	

6. ハダニ類 発生量 少

リンゴハダニ及びナミハダニの発生は、長沼町（無防除）、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）のいずれの地点においても認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0
2半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0	0
5半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0	0
6半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平年数	4		10		10		4		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。余市町A、Bの予察園は慣行防除。

7. キンモンホソガ 発生量 やや少

予察園におけるフェロモントラップ誘殺数は、余市町A（慣行防除）で平年より多く、長沼町（無防除）で平年よりやや少なく、余市町B（慣行防除）で平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、七飯町で平年よりやや多く、石狩市、壮瞥町および増毛町では平年より少なかった。札幌市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.3	0	0.3
2半旬	0	0.2	0.1	0.2	0	0.5
3半旬	0	0.1	0.6	1.5	0.7	1.9
4半旬	0	0.7	12.3	5.9	0.7	16.2
5半旬	0	4.3	30.3	11.6	4.7	24.2
6半旬	4	3.0	71.4	21.5	20.7	29.1
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0.2	1	0.1	-	1.6
2半旬	0	0.2	0	0.2	0	0.0	0.1	0.1	0	0.2
3半旬	0	0.4	0	0	0	0.5	0.6	0.1	0	0.9
4半旬	0	0.5	0.2	0	1	3.2	1.8	2.1	8	8.4
5半旬	0	0.5	0.8	3.7	0	21.2	4.2	3.0	16	62.9
6半旬	0	0.5	0	6.4	0	31.3	11.3	6.8	21.6	108.0
平年数	10		10		10		10		10	

令和7年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

令和7年度農薬危害防止運動

農薬の適正使用 農林水産省 検索
農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

北海道

令和7年6月1日～8月31日

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課